



【酒田光陵】難関国家試験「応用情報技術者試験」に 本校情報科生徒が合格！

山形県立酒田光陵高等学校（校長：藤田 雅彦）の情報科３年生、佐藤 晴飛（さとう はるひ）さん（17 歳、酒田市在住）が、この度、独立行政法人情報処理推進機構（IPA）が主催する国家試験「応用情報技術者試験」に合格しました。高校生の合格は全国的にも極めて稀であり、本校情報科の生徒としては８年ぶりの快挙となります。

応用情報技術者試験は、IT スキル標準のレベル３に位置付けられ、IT エンジニアとしてシステム開発や構築に必要な応用的知識・技能を問う国家試験です。合格率は例年 20% から 25%程度と低く、実務経験を持つ IT エンジニアが主な受験層であることから、その難易度の高さがうかがえます。2025 年 4 月に実施された試験では、全国で 38,663 人が受験し、合格者は 8,527 人（合格率 22.1%）でした。このうち高校生の合格者はわずか 35 人であり、今回の佐藤晴飛さんの合格がいかに異例であるかを物語っています。

佐藤晴飛さんは、幼少期からコンピュータに強い興味を持ち、将来はソフトウェア開発エンジニアになることを目指し、本校の情報科に入学しました。高校２年次には IT パスポートと基本情報技術者試験に合格するなど、着実に IT の基礎知識を習得してきました。応用情報技術者試験に向けては、自宅での学習に毎日６時間以上を費やし、苦手分野の克服に努めました。

本校情報科では、今後も佐藤晴飛さんのように、高度な専門知識と技能を身につけた IT 人材を育成するため、教育環境の充実に努めてまいります。

つきましては、本試験の合格について広報頂きますようお願い申し上げます。

お問合せ 山形県立酒田光陵高等学校 TEL：0234-28-8833／FAX：0234-28-8845

担 当 情報科 丸山 倫史 smaruyamat@yamagataps.jp